

ミニギャラリー

今月の題字



熊野高等学校3年  
住川 友理さん

町の人口と世帯数

平成27年3月31日  
(前年同月比較)

人口：24,750人 (-124)  
男：12,023人 (-59)  
女：12,727人 (-65)  
世帯数：10,554世帯 (+60)

(住民基本台帳)



熊野高等学校 3年 寺崎 瑞歩さん



熊野高等学校 3年 古澤 映奈さん

【評】  
モンサンミッシェルと宮島を同縮尺で再現しています。お参りの船や町並の細部まで造り込まれ、見る人を魅了します。PTA連合会会長賞を受賞し、全国大会での広島県代表作品に選ばれました。

【評】  
渴筆のきいた大胆な筆使いで木簡を書き上げました。第二十回全国高等学校書道コンクールで部門賞(木簡賞)に輝いた作品です。

熊野の自然 (308)

スイカズラ

(スイカズラ科)



花筒の奥に甘い蜜があり子どもたちが吸ったので、「吸葛」の名が付きました。花には芳香があり、昼より夜の方が強くなります。細長い花筒の奥の蜜が吸えるのは、蛾など限られた昆虫です。強い香りで蛾を誘い、花粉を運んで貰います。花期は5〜6月。花は、葉腋から2個ずつ対になって咲きます。長さは3〜4cm。先は上下に大きく2裂し、上弁は浅く4裂します。雄しべ5個、雌しべ1個が突き出ています。花の基部の苞が、葉状で長さ5〜20mmと大きいことが、近似種との区別点の一つです。

花は白色、時に淡紅色のものもありますが、後に黄色になります。黄色を金色、白色を銀色と見て、別名は「金銀花」。果実は液果で、径5〜6mmの球形です。2個並んで

つき、晩秋に黒く熟します。半常緑つる性の木で、巻き方はフジと同じです。古い樹皮は淡褐色で縦に裂けます。よく分枝し茂ります。葉は対生し、楕円形で縁に鋸歯はなく、有毛です。若い茎には、時に羽状に裂けた葉が出ます。茎の先の葉が冬も残るので、「忍冬」の名もあります。花や茎葉を乾燥し煎じて、利尿、鎮痛などに用います。花は生で酢の物に、また焼酎に漬けて忍冬酒にします。全国に分布し、町内でも林縁などでよく見られます。

【写真・文】  
緑花文化士 富沢由美子

県内市町発!!

おすすめイベント

ピクニックアップ

【中国やまなみ街道 全線開通記念イベント】

「中国やまなみ街道」の全線開通記念イベント。23日(土)はアンガールズや今人

気のくまむし等が出演するRCC「元就。」の公開

放送を実施(12時〜13時)。沿線地域のグルメブラスや

為末大のかけこキヤラバン(23日)も!

時5月23日(土)〜24日(日)所みよし運動公園

¥無料(飲食は別途料金がかかります)

関中国やまなみ街道開通記念イベント実施本部

222-1127



(商工観光課)

切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。

防災無線放送再生ダイヤル  
082-820-5640  
(放送終了後24時間自動消音)



「広報くまの」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。